Panasonic

DVCPRO HD

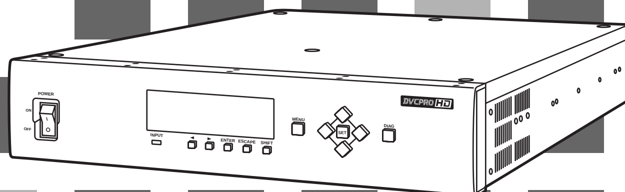
DVCPRO HD Codec Unit

AJ-HDP151

取扱説明書

保証書別添付

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、お受け取りください。
製造番号は、品質管理上重要なものです。お買い上げの際は、製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。



ご使用前に本誌をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと大切に保管し、わからないときは再読してください。

上手に使って、上手に節電

ご使用後は、忘れずに電源スイッチを切ってください。

目次

概要

本機は、HD/SD マルチフォーマット DVCPRO サーバー（AJ-HDR150）と組み合わせて、DVCPRO HD（High Definition）フォーマット信号の記録や再生を行うコーデック（エンコーダー/デコーダー）ユニットです。
エンコーダーとデコーダーの切り替えは、セットアップメニュー操作で行います。

AJ-HDR150 にオプションの SDTI 基板（AJ-YAC7000P）を搭載し、本機を接続することで、HD 信号の記録や再生ができます。

オプションの HD-SD フォーマットコンバーターボード（AJ-UDC150P）を本機に搭載することで、SD（Standard Definition）システムへの変換が可能になります。

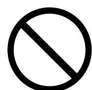
安全上のご注意 （必ずお守りください）

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■ **表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。**

	警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
	注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■ **お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は、絵表示の一例です。）**

	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

安全上のご注意 （必ずお守りください）

設置について

⚠ 警告

■不安定な場所に置かない！ 禁止 落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。	■電源コードに重いものを載せない！ 禁止 本機の下敷きにならないよう注意してください。コードが傷ついて、火災・感電を起こすおそれがあります。	■コードに重いものを載せない！ 禁止 本機の下敷きにならないよう注意してください。コードが傷ついて、火災・感電を起こすおそれがあります。
■水場に設置しない！ 水場使用禁止 火災・感電の原因となります。	■ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない！ 禁止 感電の原因となります。	■付属品・オプションは、指定の製品を使用する！ 本体に誤って指定外の製品を使用すると、火災や事故を起こすおそれがあります。
■コンセントや配線機器の定格を越える使い方や、交流100V以外での使用はしない！ 禁止 たこ足配線などで定格を越えると、発熱による火災の原因となります。		

使用方法について

⚠ 警告

■本機の上に水の入った容器、小さな金属物を置かない！ 禁止 本機内部にはいると、故障や事故を起こすおそれがあります。	■機器の開口部から異物を差し込んだり、落とし込んだりしない！ 禁止 火災・感電のおそれがあります。	■本機を改造しない！ 分解禁止 火災・感電の原因となります。

安全上のご注意 （必ずお守りください）

使用方法について

⚠ 警告

■電源コード・電源プラグが破損するようなことはしない！
傷つけたり、加工したり、高温部に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたりしない！

禁　止

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

- コードやプラグの修理は、お買い上げの販売店に、ご相談ください。

■機器が濡れたり、水が入らないようにする！

禁　止

火災・感電のおそれがあります。
雨天・降雪・海岸・水辺での使用は、特にご注意ください。

■水場で使用しない！

水場使用禁止

火災・感電の原因となります。

■表示された電源電圧以外は、使用しない！

禁　止

火災・感電のおそれがあります。

■電源プラグは、根元まで確実に差し込む！

感電の原因になります。

■本機の裏ぶた・キャビネット・カバーなどを外さない！

分解禁止

感電の原因となります。

- 点検・整備・修理は、お買い上げの販売店に、ご依頼ください。

■指定のカバー以外は、外さない！

分解禁止

感電の原因となります。

- 点検・整備・修理は、お買い上げの販売店に、ご依頼ください。

異常時の処理について

⚠ 警告

■本機を落としたり、破損した場合は、電源スイッチを切り、電源（プラグ）を抜く！

電源プラグを抜く

そのまま使用すると、火災・感電を起こすおそれがあります。

■本機の内部に水などが入った場合は、電源スイッチを切り、電源（プラグ）を抜く！

電源プラグを抜く

そのまま使用すると、火災・感電を起こすおそれがあります。

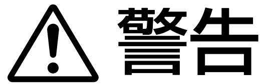
■本機の内部に異物が入った場合は、電源スイッチを切り、電源（プラグ）を抜く！

電源プラグを抜く

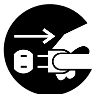
そのまま使用すると、火災・感電を起こすおそれがあります。

安全上のご注意 （必ずお守りください）

異常時の処理について



■煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態の場合は、電源スイッチを切り、電源（プラグ）を抜く！


電源プラグを抜く

火災・感電の原因となります。

●お買い上げの販売店に、修理をご依頼ください。

■電源コードが傷んだ場合は、交換を依頼する！



そのまま使用すると、火災・感電を起こすおそれがあります。

●お買い上げの販売店に、ご相談ください。

お手入れについて



■電源プラグのほこりなどは、定期的にとる！



プラグにほこりがたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因となります。

●電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。

安全上のご注意 （必ずお守りください）

設置について

⚠注意

■電源コードを熱器具に近づけない！ 禁止 コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。	■油煙や湯気が当たる場所に置かない！ 禁止 火災・感電の原因となることがあります。	■湿気やほこりの多い場所に置かない！ 禁止 火災・感電の原因となることがあります。
■プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない！ 禁止 コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。 ●必ずプラグを持って抜いてください。	■コネクターを抜くときは、コードを引っ張らない！ 禁止 コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。 ●必ずコネクターを持って抜いてください。	■ぬれた手でコネクターを抜き差ししない！ 禁止 感電の原因となることがあります。
■本機の通風孔をふさがない！ 禁止 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。 ●本機を風通しの悪い所に押し込まないでください。 ●テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置かないでください。	■持ち上げや移動には、十分注意する！ 落としたりすると、けがの原因となります。 ●10kg以上の機器は、２人以上で持ち上げるなど、慎重に取り扱ってください。	■斜めに設置しない！ 禁止 ディスクに歪みがかかり、保存したデータが使えなくなります。 ■確実に固定する！ 外れると落下したりして、けがの原因となります。

使用方法について

⚠注意

■本機の上に重い物を置かない！ 禁止 バランスがくずれて、落下し、けがの原因となります。	■本機に乗らない！ 禁止 倒れたり、壊れたりし、けがの原因になります。	■移動させる場合は、電源スイッチを切り、プラグを抜き、外部の接続コードを外す！ 電源プラグを抜く コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

安全上のご注意 （必ずお守りください）

使用方法について

⚠ 注意

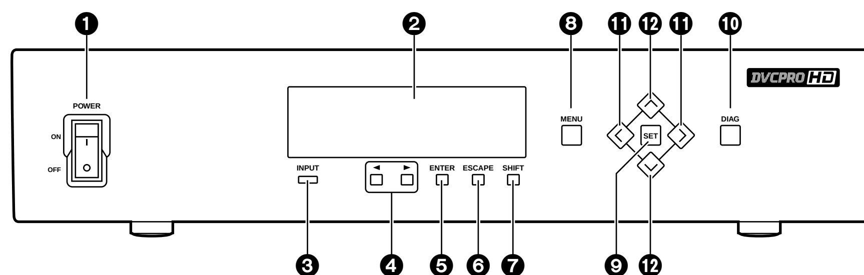
■磁石を近づけない！ 禁　止 磁石などの強い磁気を近づけると、保存したデータが使えなくなります。	■使用中に動かさない！ 禁　止 使用中に振動を与えると、保存したデータが使えなくなります。	■落とさない、強い衝撃を与えない！ 禁　止 強い衝撃を与えると、保存したデータが使えなくなります。
■長期間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜く！ 電源プラグを抜く 火災の原因となることがあります。		

お手入れについて

⚠ 注意

■お手入れの際は安全のため、電源スイッチを切り、電源（プラグ）を抜く！ 電源プラグを抜く 火災・感電の原因となることがあります。	■1 年に 1 度ぐらいは、販売店に内部の掃除の相談を！ 本機の内部にほこりがたまったまま、使用し続けると、火災・故障の原因となることがあります。	

フロントパネル



❶POWER スイッチ
本機の電源を ON/OFF するスイッチです。
電源を切った後、すぐに電源を入れ直さないでください。電源を切った後は、5 秒以上待ってから電源を入れ直して下さい。

❷表示パネル
フォーマット表示：
本機のフォーマットを表示します。
ステータス表示：
本機の状態（ビデオ/オーディオ入力、タイムコードなど）を表示します。
スクロールボタン ❹ を押すと、表示を左右にスクロールすることができます。
セットアップメニュー表示：
MENU ボタン ❽ を押すと、セットアップメニューを表示します。

❸インプットコンディションランプ
入力信号の状態により、点灯や点滅を行います。
点灯：必要な信号が、全て入力されているときに点灯します。
点滅：ビデオ信号（HD SDI または、SDTI）は入力されているが、他のオーディオ信号やリファレンス信号が入力されていないときに点滅します。
消灯：ビデオ信号が入力されていないときは消灯します。

❹スクロールボタン
表示パネルにステータスを表示しているとき、表示を左右にスクロールできます。

❺ENTER ボタン
セットアップメニューの設定時、設定値を確定するときに押します。

❻ESCAPE ボタン
セットアップメニューの設定時、設定値を無視したり、解除するときに押します。

❼SHIFT ボタン
セットアップメニューの設定時、[∧] ボタンや [∨] ボタンを同時に押してモード（エンコーダー/デコーダー等）を変更します。

❽MENU ボタン
セットアップメニューを操作するときに押します。
MENU ボタンを押すと、表示パネルにセットアップメニュー番号と項目を表示します。
また、HD SDI OUT3 端子や SD SDI OUT3 端子にビデオモニターを接続しているときは、画面にセットアップメニューを表示します。
再度、MENU ボタンを押すと、セットアップメニューの設定から抜け、元の状態に戻ります。

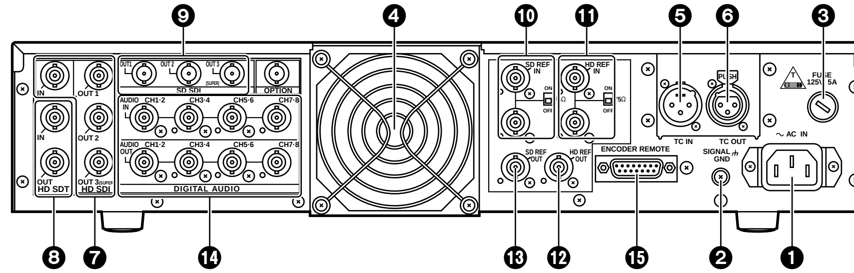
❾SET ボタン
セットアップメニューの設定時、SET ボタンを押すと、設定値を確定します。
セットアップメニューのデータが確定すると、セットアップメニューの設定から抜け、元の状態に戻ります。

❿DIAG ボタン
HD SDI OUT3 端子や SD SDI OUT3 端子にビデオモニターを接続しているときは、画面に本機の情報を表示します。
再度、DIAG ボタンを押すと、画面表示が元の状態に戻ります。
詳しくは、「ワーニングメッセージと DIAG 表示」の項目を参照してください。（24 ページ）

⓫左右ボタン [<, >]
セットアップメニューの設定時、設定値を選択します。

⓬上下ボタン [∧, ∨]
セットアップメニューの設定時、項目を選択します。

リアパネル



❶ AC IN コネクター [〜 AC IN]
電源コード（付属）を接続します。

❷ SIGNAL GND 端子
ノイズ軽減のための GND 端子です。
接続機器の信号アース端子と接続します。
安全アースではありません。

❸ ヒューズホルダー
125V 5A のヒューズが入っています。

❹ 放熱ファン
内部温度の上昇を防ぐためのファンです。

❺ TIME CODE IN 端子
外部タイムコードの入力端子です。

❻ TIME CODE OUT 端子
デコードしたタイムコードの出力端子です。

❼ HD SERIAL DIGITAL COMPONENT AUDIO VIDEO IN/OUT 端子
SMPTE292M 規格に準拠した、HD デジタル・コンポーネント・オーディオ/ビデオ信号の入出力端子です。
HD SDI OUT3 端子からは、TC やメニュー内容などがスーパー付きで出力されます。

❽ SDTI IN/OUT 端子
SMPTE305M 規格に準拠した、圧縮データの入出力端子です。

❾ SD SERIAL DIGITAL COMPONENT AUDIO VIDEO OUT 端子
オプションの HD-SD フォーマットコンバーターボード（AJ-UDC150P）を搭載すると、SMPTE259M-C、272M、294M 規格に準拠した、デジタル・コンポーネント・オーディオ/ビデオ信号が出力されます。
SD SDI OUT3 端子からは、TC やメニュー内容などがスーパー付きで出力されます。

❿ SD REF IN 端子と 75 Ω終端スイッチ
SD リファレンス・ビデオ信号の入力端子です。
カラーバースト付きの NTSC 信号を入力してください。
終端する場合は、終端スイッチを「ON」にします。

⓫ HD REF IN 端子と 75 Ω終端スイッチ
HD リファレンス・ビデオ信号の入力端子です。
正負両極性の 3 値同期信号を入力してください。
終端する場合は、終端スイッチを「ON」にします。

⓬ HD REF OUT 端子
外部同期用の HD リファレンス・ビデオ信号の出力端子です。
正負両極性の 3 値同期信号を出力します。

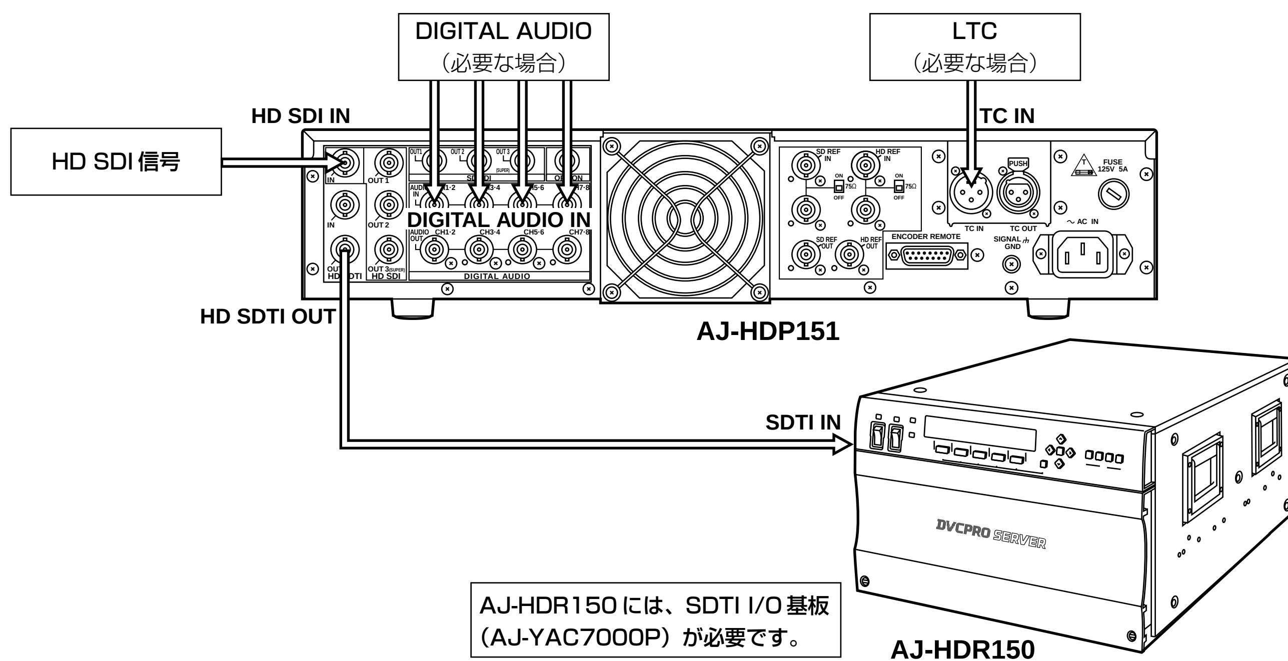
⓭ SD REF OUT 端子
NTSC 外部同期用の信号（ブラックバースト信号）を出力します。

⓮ DIGITAL AUDIO IN/OUT 端子
AES/EBU 規格に準拠した、デジタル・オーディオ信号の入出力端子です。

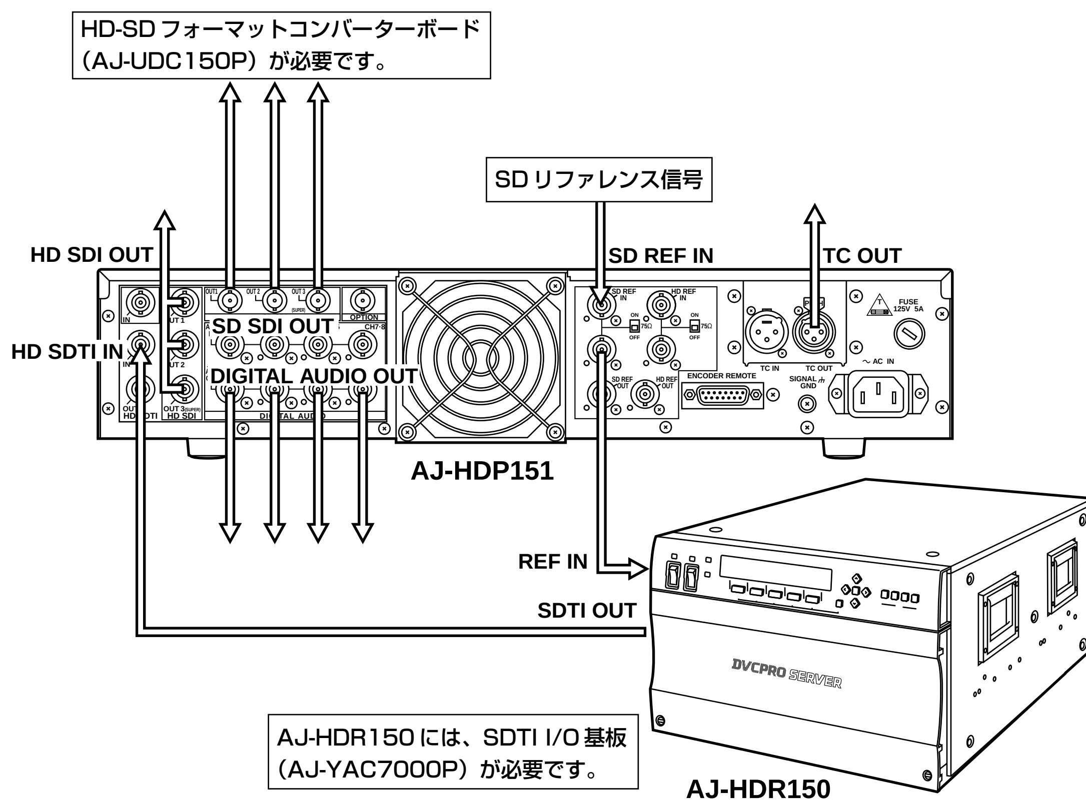
⓯ ENCODER REMOTE 端子
エンコーダーリモートコントローラーを接続して、ビデオ出力信号の各設定を調整します。

接続例

本機をエンコーダーとして使用する場合



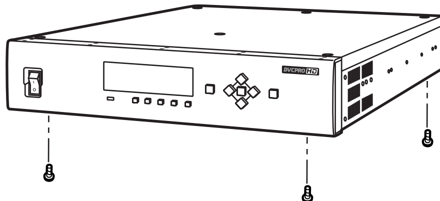
本機をデコーダーとして使用する場合



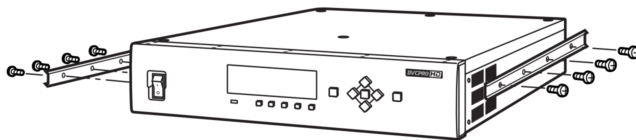
ラックマウント

付属のラックマウントアダプタをご使用になりますと、19 インチ標準ラックに組み込むことができます。
取り付けには、下記のスライドレールとブラケットのご使用をおすすめいたします。
摂津金属工業社製：スライドレール（C305-22）、ブラケット（RBA2-35-200E）
詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

1. 本機底面の、セット脚４個を取り外します。
● 振動や衝撃には、十分注意してください。



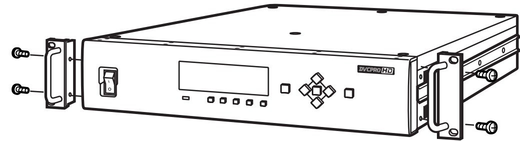
2. 本機に、スライドレールのインナーメンバーを取り付けます。



● 取り付けるネジには、長さの制限があります。
スライドレールに付属のネジ（M4 × 10）を使用してください。
取り付けるネジを紛失したときは、長さ 10mm 以下のネジを使用してください。
● インナーメンバーは、必ず左右それぞれ４か所ネジ止めしてください。

3. ラックに、スライドレールのアウターメンバーとブラケットを取り付けます。
<ノート>
左右の高さが、同じであるか確認してください。

4. 本機に、ラックマウントアダプターを取り付けます。



● 取り付けるネジは、ラックマウントアダプターに付属のネジを使用してください。
● ラックマウントアダプタは、必ず左右それぞれ 2 か所ネジ止めしてください。

5. インナーメンバーのストッパーを解除して、本機をラックに組み込みます。
組み込んだ後、本機がスムーズに移動することを確認してください。

● ラック内の温度は、5°C ～ 35°C の範囲を保ってください。
● 本機を引き出したときにラックが倒れないように、ラックはしっかりと、床にボルトで固定してください。

ステータス表示

ステータスの各項目は、6 文字単位で構成されています。
1 行目に項目名称を表示し、2 行目に状態を表示します。
本機の表示パネルには、3 項目を同時に表示することができます。
スクロール・ボタンを押すことにより、表示を左右にスクロールして、他の項目を表示することができます。

表示例：

```
V I D _ I N   E N C F M T   E N C F L D
H D _ S D I   1 0 8 0 i     5 9 . 9 4
```

ステータス表示項目一覧

本機をエンコーダーとして使用している場合

表示順	ステータス表示	表示内容
1	VID_IN	ビデオ入力信号の状態を表示します。 **HD_SDI：** ビデオ入力が HD SDI であることを示します。 信号が入力されていない場合、表示が点滅します。 **INT_CB：** ビデオ入力が内部信号発生器のカラーバー信号であることを示します。 **INT_MB：** ビデオ入力が内部信号発生器のマルチバースト信号であることを示します。 **INTRMP：** ビデオ入力が内部信号発生器のランプ信号であることを示します。 **INTBLK：** ビデオ入力が内部信号発生器のブラック信号であることを示します。
2	ENCFMT	エンコードする映像フォーマットを表示します。 **1080i：** 1080i をエンコードします。 **720P：** 720P をエンコードします。
3	ENCFLD	エンコードするフィールド周波数を示します。 **59.94：** フィールド周波数 59.94Hz でエンコードします。
4	TC	タイムコードがドロップフレームか、ノンドロップフレームかを示します。 **DF：** ドロップ・フレーム **NDF：** ノンドロップフレーム
5	TC_IN	タイムコード入力信号の状態を示します。 **LTC：** タイムコード入力として、TIME CODE IN 端子の LTC を使用します。 **SLTC：** タイムコード入力として、HD SDI 信号に付加されている LTC 情報を使用します。 **SVITC：** タイムコード入力として、HD SDI 信号に付加されている VITC 情報を使用します。 **<ノート>** タイムコード入力信号がない場合は、各表示が点滅します。
6 7 8 9	A12_IN A34_IN A56_IN A78_IN	オーディオ入力信号の状態を示します。 **AES：** オーディオ入力として、DIGITAL AUDIO IN 端子の AES オーディオ信号を使用します。 AES オーディオ信号が入力されていない場合、表示が点滅します。 **SDI：** オーディオ入力として、HD SDI のエンベッデッド・オーディオ信号を使用します。 HD SDI が入力されていない場合や、入力されていてもオーディオ信号が埋め込まれていない場合は、表示が点滅します。 **INT_SG：** オーディオ入力として、内部信号発生器の信号を使用します。

ステータス表示

ステータス表示項目一覧

本機をデコーダーとして使用している場合

表示順	ステータス表示	表示内容
1	SDTIIN	入力 SDTI 信号の形式を示します。 **1080i ：** SDTI 入力は 1080i です。 **720P ：** SDTI 入力は 720P です。 **SDTI（点滅）：** SDTI 信号が入力されていません。
2	HD_OUT	HD SDI 出力の状態を示します。 **1080i ：** HD SDI 出力は 1080i です。 **720P ：** HD SDI 出力は 720P です。 **MUTE ：** 出力されません。
3	SD_OUT	SD SDI 出力の状態を示します。 **480P ：** SD SDI 出力は 480P です。 **480i ：** SD SDI 出力は 480i です。 **MUTE ：** 出力されません。
4	DECFLD	SDTI 入力信号のフィールド周波数を示します。 **59.94 ：** 59.94Hz です。
5	REFOUT	出力基準信号の状態を表示します。 **HD_59 ：** HD REF 入力が基準信号に使用されています。 フィールド周波数は、59.94Hz です。 **IN_59 ：** SDTI 入力が基準信号に使用されています。 フィールド周波数は、59.94Hz です。 **INT59 ：** メニュー 031 ： OUT REF の設定で、HD_REF または、INPUT が選択されていますが、これらの信号が入力されていないため、内部発信器（59.94Hz）が基準信号に使用されています。 **NTSC59 ：** SD REF 入力が基準信号に使用されています。 フィールド周波数は、59.94Hz です。 **INT59N ：** メニュー 031 ： OUT REF の設定で SD_REF が選択されていますが、SD REF 信号が入力されていないため、内部発信器（59.94Hz）が基準信号に使用されています。

表示順	ステータス表示	表示内容
6	UFC	HD-SD フォーマットコンバーター（AJ-UDC150P）の状態を示します。 **LN_CON ：** ライン・コンバーターの動作をしています。 **IP_CON ：** ip コンバーターの動作をしています。 **DW_CON ：** ダウンコンバーターの動作をしています。 **NONE ：** HD-SD フォーマット・コンバーターが装着されていません。
7	TC	タイムコードがドロップフレームか、ノンドロップフレームかを示します。 **DF ：** ドロップ・フレーム **NDF ：** ノンドロップフレーム
8	SDI_A1	SD SDI エンベッデッド・オーディオの CH1 として出力する、オーディオ信号のチャンネルを示します。 **CH1 ：** CH1 を出力します。 **CH5 ：** CH5 を出力します。
9	SDI_A2	SD SDI エンベッデッド・オーディオの CH2 として出力する、オーディオ信号のチャンネルを示します。 **CH2 ：** CH2 を出力します。 **CH6 ：** CH6 を出力します。
10	SDI_A3	SD SDI エンベッデッド・オーディオの CH3 として出力する、オーディオ信号のチャンネルを示します。 **CH3 ：** CH3 を出力します。 **CH7 ：** CH7 を出力します。
11	SDI_A4	SD SDI エンベッデッド・オーディオの CH4 として出力する、オーディオ信号のチャンネルを示します。 **CH4 ：** CH4 を出力します。 **CH8 ：** CH8 を出力します。

セットアップメニュー

本機の設定は、メニュー方式で選択しながら行います。HD/SD SDI OUT3 端子にビデオモニターを接続しているときは、メニュー内容がスーパー付きで出力されます。

■ 基本的な使い方

- メニュー設定モードに入るには、[MENU] ボタンを押します。
- 項目を変えるには、[∧] または [∨] ボタンを押します。
- 各項目の設定値を変えるには、[<] または [>] ボタンを押します。
- [ENTER] ボタンを押すと、メニュー設定モードを抜けずに、[ENTER] ボタンを押すまでの変更を有効にします。
- [ESCAPE] ボタンを押すと、メニュー設定モードを抜けずに、[ESCAPE] ボタンを押すまでの変更を無効にします。
  ただし、[ESCAPE] ボタンを押す以前に [ENTER] ボタンを押している場合、[ENTER] ボタンを押したところまでの変更は有効になります。
- [SET] ボタンを押すと変更が有効になり、メニュー設定モードを抜けます。
- [SET] ボタンを押さずに [MENU] ボタンを押すと、それまでの変更を無効にしてメニュー設定モードを抜けます。ただし、[MENU] ボタンを押す以前に [ENTER] ボタンを押している場合、[ENTER] ボタンを押したところまでの変更は有効になります。

■ メニューの切り替え

本機には、次の３つのメニューがあります。

<SYSTEM> メニュー
<ENC> メニュー
<DEC> メニュー

本機をエンコーダーとして使用している場合には、<SYSTEM> メニューと <ENC> メニューが表示されます。また、本機をデコーダーとして使用している場合には、<SYSTEM> メニューと <DEC> メニューが表示されます。

<SYSTEM> と <ENC>、または <SYSTEM> と <DEC> を切り替えるには、メニュー設定モードに入った状態で、[SHIFT] ボタンを押しながら、[∧] または [∨] ボタンを押します。

■ エンコーダーとデコーダーの切り替え

本機をエンコーダーとして使用するのか、デコーダーとして使用するのかは、<SYSTEM> メニュー No.01 ： INPUT SEL で決定します。

- INPUT SEL を HD SDI に設定すると、本機は、HD SDI 入力を SDTI 出力に変換するエンコーダーとして動作します。
- INPUT SEL を SDTI に設定すると、本機は、SDTI 入力を HD SDI 出力に変換するデコーダーとして動作します。

■ メニューの初期化

<SYSTEM> メニュー設定の初期化

1. メニュー設定モードに入り、<SYSTEM> メニューを表示させます。
2. [DIAG] ボタンを押します。
3. SYSTEM INIT OK? というメッセージが表示されます。
4. 初期化を行う場合は、[ENTER] ボタンを押します。
   初期化しない場合は、[ESCAPE] ボタンを押します。

<ENC> メニュー設定の初期化

1. メニュー設定モードに入り、<ENC> メニューを表示させます。
2. [DIAG] ボタンを押します。
3. ENCODER INIT OK? というメッセージが表示されます。
4. 初期化を行う場合は、[ENTER] ボタンを押します。
   初期化しない場合は、[ESCAPE] ボタンを押します。

<DEC> メニュー設定の初期化

1. メニュー設定モードに入り、<DEC> メニューを表示させます。
2. [DIAG] ボタンを押します。
3. DECODER INIT OK? というメッセージが表示されます。
4. 初期化を行う場合は、[ENTER] ボタンを押します。
   初期化しない場合は、[ESCAPE] ボタンを押します。

SYSTEM メニュー

項目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
01	INPUT SEL	 0000 0001	 HD SDI SDTI	本機の入力を選択し、動作モードを決定します。 0 ： 本機の入力に HD SDI を選択します。本機はエンコーダーとして動作し、SDTI を出力します。 1 ： 本機の入力に SDTI を選択します。本機はデコーダーとして動作し、HD SDI を出力します。
05	ENCODER SEL	 0000 0001 0002	 REMOTE LOCAL BOTH	SDI 出力信号の各調整を本機で行うか、外部のエンコーダーリモート・コントローラーから行うかを設定します。 0 ： 外部のエンコーダー・リモート・コントローラーから、SDI 出力信号の各調整を行います。 1 ： 本機で SDI 出力信号の各調整を行います。 2 ： 本機及び外部のエンコーダー・リモート・コントローラーから SDI 出力信号の各調整を行います。 <ノート> 本設定は、本機をデコーダーとして使用する場合に有効です。
06	V LEVEL CTRL	 0000 0001 0002	 HD SD BOTH	外部のエンコーダー・リモート・コントローラーからビデオ出力レベルを調整する場合、制御する対象を選択します。 0 ：HD のビデオ出力レベルが調整できます。 1 ： SD のビデオ出力レベルが調整できます。 2 ： HD/SD 共に、ビデオ出力レベルが調整できます。 <ノート> 本設定は、本機をデコーダーとして使用する場合に有効です。
12	SYS H (HD)	0550 : 1100 : 1650	－500 : 0 : 500	HD SDI 出力のシステム位相調整（27ns ステップ） －：位相が進みます。 ＋：位相が遅れます。 <ノート> 本設定は、本機をデコーダーとして使用する場合に有効です。 メニューの初期化を行っても、設定値は変化しません。
13	V PHASE (HD)	0000 : 0500 : 1000	－500 : 0 : 500	HD SDI 出力のビデオ位相調整（27ns ステップ） －：位相が進みます。 ＋：位相が遅れます。 <ノート> 本設定は、本機をデコーダーとして使用する場合に有効です。
16	SDI SYS H (SD)	0000 : 0429 : 0858	－429 : 0 : 429	SD SDI 出力（HD からのダウン・コンバート）のシステム位相調整（27ns ステップ） －：位相が進みます。 ＋：位相が遅れます。 <ノート> 本設定は、本機をデコーダーとして使用する場合に有効です。 メニューの初期化を行っても、設定値は変化しません。
20	AV PHASE	0000 : 0100 : 0200	－100 : 0 : 100	映像出力に対しての、音声出力の位相を調整します。 （20.8 μｓステップ） －：映像出力に対して、音声出力の位相が進みます。 ＋：映像出力に対して、音声出力の位相が遅れます。 <ノート> 本設定は、本機をデコーダーとして使用する場合に有効です。

＿＿＿＿ は、工場出荷モードです。

BASIC メニュー

項 目		設 定 値		設 定 内 容	ENC	DEC
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示			
005	SUPER	 0000 0001	 OFF ON	モニター（HD SDI OUT3 端子と SD SDI OUT3 端子に接続）にタイムコード等のスーパー表示を表示する選択をします。 0 ： 表示しません。 1 ： 表示します。	○	○
006	DISPLAY SEL	 0000 0001 0002	 TIME T&STA T&S&M	モニター（HD SDI OUT3 端子と SD SDI OUT3 端子に接続）へのスーパー表示内容を選択します。 0 ： 時間のみ 1 ： 時間と動作モード 2 ： 時間、動作モードおよびモード <ノート> ● モードの表示は、フォーマットに従って以下のように表示します。 <フォーマット> <表示> DVCPRO (HD) ➧ DVCPRO_HD ● T&S&M に設定したときにワーニングが発生すると、その情報を表示します。 詳しくは、「ワーニングメッセージと DIAG 表示」を参照してください。	○	○
007	CHARA H-POS	0000 : 0006 : 0037	0 : 6 : 37	スーパー表示の水平方向文字位置を設定します。 <ノート> 本項目設定中は、SUPER OFF であっても、DISPLAY SEL と CHARA TYPE の指定に従って、HD SDI OUT3 端子と SD SDI OUT3 端子からスーパー表示を出力します。ただし、メニュー設定モードから抜けた場合は、SUPER OFF/ON の設定に従います。	○	○
008	CHARA V-POS	0000 : 0023 : 0032	0 : 23 : 32	スーパー表示の垂直方向文字位置を設定します。 <ノート> 本項目設定中は、SUPER OFF であっても、DISPLAY SEL と CHARA TYPE の指定に従って、HD SDI OUT3 端子と SD SDI OUT3 端子からスーパー表示を出力します。ただし、メニュー設定モードから抜けた場合は、SUPER OFF/ON の設定に従います。	○	○
009	CHARA TYPE	 0000 0001	 WHITE W/OUT	スーパー表示やセットアップ・メニュー等の表示文字タイプを選択します。 0 ： 白文字で、背景は黒 1 ： 白文字で、黒の輪郭付き	○	○
020	SYS FORMAT	 0000 0001	 1080i 720p	本機で扱う HD のフォーマットを選択します。 0 ： 1080i を選択します。 1 ： 720p を選択します。	○	○
031	OUT REF	 0000 0001 0002 0003	 AUTO INPUT HD_REF SD_REF	SDI 出力の基準信号を選択します。 0 ： HD REF 入力があるときは、その信号が基準信号になります。 HD REF 入力がなく SD REF 入力があるときは、SD REF 信号が基準信号になります。 HD REF、SD REF 入力がないときは、SDTI 信号が基準信号になります。 HD REF も SD REF も SDTI 入力信号もないときは、内部同期信号が基準信号になります。 1 ： SDTI 入力があるときは、SDTI 入力が基準信号になります。 2 ： HD REF IN 端子に入力された信号が基準信号になります。 3 ： SD REF IN 端子に入力された信号が基準信号になります。		○

＿＿＿＿ は、工場出荷モードです。

TIME CODE メニュー

項目		設定値		設定内容	ENC	DEC
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示			
500	VITC BLANK	0000 0001	BLANK THRU	セットアップ・メニューNo.501（VITC POS-1）とNo.502（VITC POS-2）で選択された位置にVITC信号を出力する選択をします。 0 ： 出力しません。 1 ： 出力します。 <ノート> 本設定はSD SDI出力にのみ有効です。		○
501	VITC POS-1	0000 : 0006 : 0010	10L : 16L : 20L	VITC信号の挿入位置を設定します。 <ノート> ● セットアップ・メニューNo.502（VITC POS-2）と同じラインは選択できません。 ● 本設定はSD SDI出力にのみ有効です。		○
502	VITC POS-2	0000 : 0008 : 0010	10L : 18L : 20L	VITC信号の挿入位置を設定します。 <ノート> ● セットアップ・メニューNo.501（VITC POS-1）と同じラインは選択できません。 ● 本設定はSD SDI出力にのみ有効です。		○
507	EXT TC SEL	0000 0001 0002	LTC SLTC SVITC	SDTI出力信号のSUBCODE領域に埋め込むタイム・コードを選択します。 0 ： TIME CODE入力端子のLTCを選択します。 1 ： HD SDI入力信号に付加されているLTC情報を選択します。 2 ： HD SDI入力信号に付加されているVITC情報を選択します。	○	
513	VITC OUT	0000 0001	SBC VAUX	HD SDI出力とSD SDI出力に埋め込むVITCを選択します。 0 ： SDTI入力信号のSUBCODE領域に埋め込まれているタイム・コードをVITCとして出力します。 1 ： SDTI入力信号のVAUX領域に埋め込まれているタイム・コードをVITCとして出力します。		○
514	HD EMBD VITC	0000 0001	OFF ON	HD SDI出力にVITC情報の埋め込みを選択します。 0 ： VITCを埋め込みません。 1 ： VITCを埋め込みます。		○
515	HD EMBD LTC	0000 0001	OFF ON	HD SDI出力にLTC情報の埋め込みを選択します。 0 ： LTCを埋め込みません。 1 ： LTCを埋め込みます。		○

＿＿＿＿ は、工場出荷モードです。

VIDEO メニュー

項目		設定値		設定内容	ENC	DEC
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示			
600	VIDEO IN SEL	 0000 0001	 INT SG SDI	入力する映像信号を選択します。 0 ： VIDEO INT SG で選択された内蔵信号を選択します。 1 ： HD SDI IN に入力されたシリアル映像信号を選択します。	○	
601	VIDEO INT SG	 0000 0001 0002 0003	 CB MB RAMP BLACK	内蔵信号の種類を選択します。 0 ： カラー・バーを選択します。 1 ： マルチ・バーストを選択します。 2 ： ランプを選択します。 3 ： ブラックを選択します。	○	
602	SDI IN MODE	 0000 0001	 DR OFF DR ON	HD SDI 入力の処理方法を選択します。 0 ： 下位２ビットを四捨五入した、上位８ビットを記録します。 1 ： ダイナミック・ラウンディングをかけた８ビット信号を記録します。	○	
605	INTERPOLATE	 0000 0001	 OFF AUTO	インターポーレーション動作を選択します。 スロー再生時は、自動的に垂直インターポーレーションを行い、再生画像の上下動を軽減しますが、本設定によりインターポーレーション動作を強制的に OFF することができます。 0 ： 強制的に OFF します。 1 ： スロー再生時、自動的に ON します。		○
620	DOWNCON MODE	 0000 0001 0002 0003 0004	 CROP LT-BOX SQUEEZ 14:9 13:9	ダウン・コンバート時の画額処理を選択します。 0 ： サイド・カット・モード 1 ： レター・ボックス・モード 2 ： スクウィーズ・モード 3 ： セミ・レター・ボックス 14:9 4 ： セミ・レター・ボックス 13:9		○
622	D/C RESP H	0000 0001	WIDE STD	ダウン・コンバート時とライン・コンバート時の水平方向の周波数帯域を選択します。		○
623	D/C RESP V	0000 0001	WIDE STD	ダウン・コンバート時とライン・コンバート時の垂直方向の周波数帯域を選択します。		○
626	D/C ENH H	0000 0001 0002 0003	0dB ＋1dB ＋1.5dB ＋2dB	ダウン・コンバート時とライン・コンバート時の水平方向の輪郭を強調します。		○
627	D/C ENH V	0000 0001 0002 0003	0dB ＋1dB ＋1.5dB ＋2dB	ダウン・コンバート時とライン・コンバート時の垂直方向の輪郭を強調します。		○
630	1080i ➧ HD OUT	 0000 0001 0002	 1080i 720p 1080i	SDTI 入力信号が 1080i のときに、HD SDI OUT 端子に出力される信号フォーマットを選択します。 0 ： 1080i（変換なし） 1 ： 720p（ラインコンバート） 2 ： 1080i（変換なし）		○
	1080i ➧ SD OUT	 0000 0001 0002	 480i －－－ 480p	SDTI 入力信号が 1080i のときに、SD SDI OUT 端子に出力される信号フォーマットを選択します。 0 ： 480i（ダウンコンバート） 1 ： ミュート 2 ： 480p（ダウンコンバート）		○

＿＿＿＿ **は、工場出荷モードです。**

＜ノート＞

メニュー No.620 から No.631 までのメニューは、オプションの HD-SD フォーマットコンバーターボード（AJ-UDC150P）を搭載したとき有効になります。

VIDEO メニュー

項目		設定値		設定内容	ENC	DEC
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示			
631	720p ➧ HD OUT	 0000 0001 0002	 1080i 720p 720p	SDTI 入力信号が 720p のときに、HD SDI OUT 端子に出力される信号フォーマットを選択します。 0 ： 1080i（ラインコンバート） 1 ： 720p（変換なし） 2 ： 720p（変換なし）		○
	720p ➧ SD OUT	 0000 0001 0002	 – – – 480i 480p	SDTI 入力信号が 720p のときに、SD SDI OUT 端子に出力される信号フォーマットを選択します。 0 ： ミュート 1 ： 480i（ダウンコンバート） 2 ： 480p（ダウンコンバート）		○
650	Y LVL (HD)	0000 : 1000 : 1413	0.0% : 100.0% : 141.3%	HD SDI OUT 端子に出力される Y レベルの調整を行います。 （－∞～ 0dB ～＋ 3dB）		○
651	Pb LVL (HD)	0000 : 1000 : 1413	0.0% : 100.0% : 141.3%	HD SDI OUT 端子に出力される PB レベルの調整を行います。 （－∞～ 0dB ～＋ 3dB）		○
652	Pr LVL (HD)	0000 : 1000 : 1413	0.0% : 100.0% : 141.3%	HD SDI OUT 端子に出力される PR レベルの調整を行います。 （－∞～ 0dB ～＋ 3dB）		○
653	BK LVL (HD)	0050 : 0150 : 0250	– 10.0% : 0% : ＋10.0%	HD SDI OUT 端子に出力されるブラック・レベルの調整を行います。		○
654	Y LVL (SD)	0000 : 1000 : 1413	0.0% : 100.0% : 141.3%	SD SDI OUT 端子に出力される Y レベルの調整を行います。 （－∞～ 0dB ～＋ 3dB）		○
655	Pb LVL (SD)	0000 : 1000 : 1413	0.0% : 100.0% : 141.3%	SD SDI OUT 端子に出力される PB レベルの調整を行います。 （－∞～ 0dB ～＋ 3dB）		○
656	Pr LVL (SD)	0000 : 1000 : 1413	0.0% : 100.0% : 141.3%	SD SDI OUT 端子に出力される PR レベルの調整を行います。 （－∞～ 0dB ～＋ 3dB）		○

________ は、工場出荷モードです。

<ノート>
- メニューNo.620 から No.631 までのメニューは、オプションの HD-SD フォーマットコンバーターボード（AJ-UDC150P）を搭載したとき有効になります。
- メニューNo.650 から No.657 までのメニューは、メニューNo.05 ENCODER SEL が“REMOTE”に設定されている場合表示されません。

VIDEO メニュー

項 目		設 定 値		設 定 内 容	ENC	DEC
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示			
657	BK LVL (SD)	0050 : 0150 : 0250	－10.0% : 0% : ＋10.0%	SD SDI OUT 端子に出力されるブラック・レベルの調整を行います。		○
670	CC (F1) BLANK	 0000 0001	 BLANK THRU	SD SDI 出力の第 1 フィールドへ、クローズド・キャプション信号を ON/OFF する選択をします 0 ： 強制ブランキングします。 1 ： ブランキングしません。		○
671	CC (F2) BLANK	 0000 0001	 BLANK THRU	SD SDI 出力の第 2 フィールドへ、クローズド・キャプション信号を ON/OFF する選択をします 0 ： 強制ブランキングします。 1 ： ブランキングしません。		○
673	EDH (SD)	 0000 0001	 OFF ON	SD SDI 出力に EDH を埋め込む選択をします 0 ： EDH を埋め込みません。 1 ： EDH を埋め込みます。		○
676	SDI INDEX 0	 0000 0001	 OFF ON	SD SDI 出力に VIDEO INDEX 信号を埋め込む選択をします 0 ： VIDEO INDEX 信号を埋め込みません。 1 ： VIDEO INDEX 信号を埋め込みます。		○

＿＿＿＿ は、工場出荷モードです。

< ノート >
メニュー No.650 から No.657 までのメニューは、メニュー No.05 ENCODER SEL が “REMOTE” に設定されている場合表示されません。

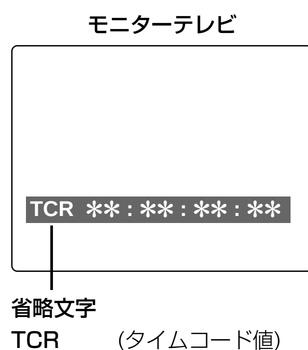
AUDIO メニュー

項目		設定値		設定内容	ENC	DEC
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示			
700	AUDIO IN SEL	 0000 0002 0003 0004	 AES SDI INT_SG USRSET	オーディオの入力信号を選択します。(全 ch 同時) 0 ： AES 入力を選択します。 2 ： SDI 入力を選択します。 3 ： 内部発生信号を選択します。 4 ： セットアップ・メニュー No.718 ～ 721 の設定に従います。	○	
718	D IN SEL 12	 0000 0001	 AES SDI	セットアップ・メニュー No.700（AUDIO IN SEL）で、USR SET を選択したときの、CH1 と CH2 の入力を選択します。 0 ： AES 入力を選択します。 1 ： SDI 入力を選択します。	○	
719	D IN SEL 34	 0000 0001	 AES SDI	セットアップ・メニュー No.700（AUDIO IN SEL）で、USR SET を選択したときの、CH3 と CH4 の入力を選択します。 0 ： AES 入力を選択します。 1 ： SDI 入力を選択します。	○	
720	D IN SEL 56	 0000 0001	 AES SDI	セットアップ・メニュー No.700（AUDIO IN SEL）で、USR SET を選択したときの、CH5 と CH6 の入力を選択します。 0 ： AES 入力を選択します。 1 ： SDI 入力を選択します。	○	
721	D IN SEL 78	 0000 0001	 AES SDI	セットアップ・メニュー No.700（AUDIO IN SEL）で、USR SET を選択したときの、CH7 と CH8 の入力を選択します。 0 ： AES 入力を選択します。 1 ： SDI 入力を選択します。	○	
732	HD EMBD AUD	 0000 0001	 OFF ON	HD SDI 出力にオーディオ・データを埋め込む選択をします。 0 ： オーディオ・データを埋め込みません。 1 ： オーディオ・データを埋め込みます。		○
733	SD EMBD AUD	 0000 0001	 OFF ON	SD SDI 出力にオーディオ・データを埋め込む選択をします。 0 ： オーディオ・データを埋め込みません。 1 ： オーディオ・データを埋め込みます。		○
753	SD SDI CH1 SEL	 0000 0001	 CH1 CH5	SD SDI 出力の CH1 へ出力するオーディオチャンネルを選択します。 0 ： CH1 を出力します。 1 ： CH5 を出力します。		○
754	SD SDI CH2 SEL	 0000 0001	 CH2 CH6	SD SDI 出力の CH2 へ出力するオーディオチャンネルを選択します。 0 ： CH2 を出力します。 1 ： CH6 を出力します。		○
755	SD SDI CH3 SEL	 0000 0001	 CH3 CH7	SD SDI 出力の CH3 へ出力するオーディオチャンネルを選択します。 0 ： CH3 を出力します。 1 ： CH7 を出力します。		○
756	SD SDI CH4 SEL	 0000 0001	 CH4 CH8	SD SDI 出力の CH4 へ出力するオーディオチャンネルを選択します。 0 ： CH4 を出力します。 1 ： CH8 を出力します。		○

_______ は、工場出荷モードです。

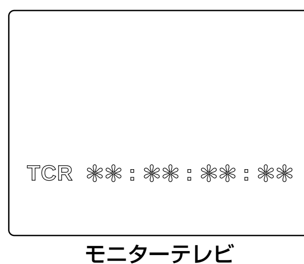
スーパーインポーズ画面

モニターテレビをHD/SD SDI OUT3端子に接続している場合は、モニターテレビにタイムコードなどが略称文字で表示されます。



表示文字
スーパーインポーズの表示文字は、セットアップメニューNo.009 CHARA TYPEの設定で、文字の背景を変えることができます。



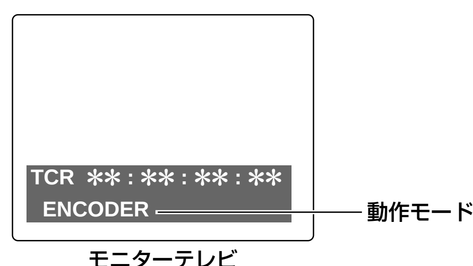


表示位置
スーパーインポーズの表示位置は、セットアップメニューNo.007 CHARA H-POSとNo.008 CHARA V-POSで変えることができます。





動作モード
セットアップメニューNo.006 DISPLAY SELで本機の動作モードを表示することができます。



ワーニングメッセージと DIAG 表示

ワーニングメッセージ

本機の放熱ファンが停止した場合には、フロントパネルの表示パネルに FAN STOP のワーニングメッセージが表示されます。

また、セットアップメニュー No.006 DISPLAY SEL で「T&S&M」が選択されている場合、モニターテレビを HD/SD SDI OUT3 端子に接続しているときは、各ワーニングメッセージがスーパー表示されます。
複数のワーニングが発生している場合は、優先度の高いワーニングメッセージが表示されます。
下記に、ワーニングメッセージと内容を、優先度の高い順に示します。

FAN STOP：
　放熱ファンが停止しています。
VIDEO NO INPUT：
　ビデオ信号が入力されていません。
AUDIO NO INPUT：
　オーディオ信号が入力されていません。
TC NO INPUT：
　タイムコード信号が入力されていません。
REF NO INPUT：
　リファレンス信号が入力されていません。

DIAG 表示

セットアップメニュー操作を行っていないときに、フロントパネルの [DIAG] ボタンを押すと、本機のアワーメーター（OPERATION）とワーニングメッセージを、表示パネルに表示することができます。
また、モニターテレビを HD/SD SDI OUT3 端子に接続しているときは、アワーメーターとワーニングメッセージがスーパー表示されます。
再度 [DIAG] ボタンを押すと、元の状態に戻ります。

アワーメーターは、OPERATION のメッセージに続いて表示されます。本機に電源が投入された時間を、1 時間単位で表示します。

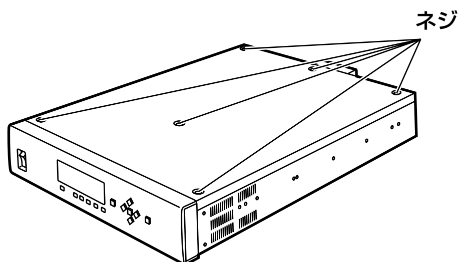
表示パネルのメッセージは、上下ボタン [∧, ∨] でスクロールして、参照してください。
スーパー表示には、アワーメーターとワーニングメッセージが全て画面に表示されます。ワーニングが発生していないときは、「NO WARNING」が表示されます。

オプション基板の取り付け方法

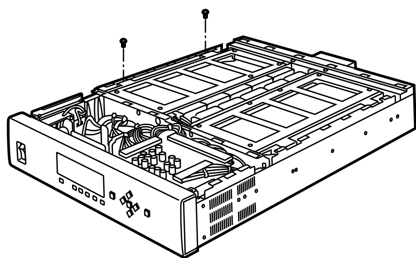
本機には、オプションとしてHD-SD フォーマットコンバーターボード（AJ-UDC150P）を取り付けることができます。

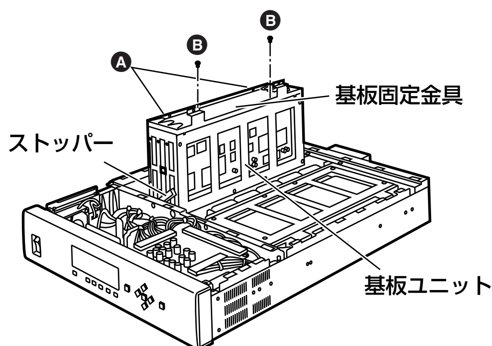
- **オプション基板の取り付けは、お買い上げの販売店にご相談ください。**
- **オプション基板を取り付けるときは、必ず、電源コードを抜いた状態で行ってください。**

1 本機天面のネジ６本を外し、トップパネルを外します。



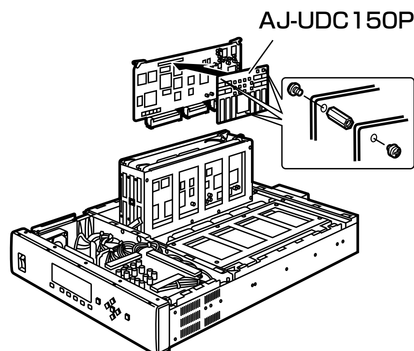
2 ネジ２本を外し、基板ユニットを垂直に起こします。
<ノート>
基板ユニットが倒れないように、ストッパーのロックを確認してください。





3 Ⓐのネジ２本をゆるめ、Ⓑのネジ２本を外して基板固定金具を外します。
<ノート>
Ⓐのネジ２本は、外す必要はありません。

4 F4 スロットの基板を外し、HD-SD フォーマットコンバーターボード（AJ-UDC150P）を取り付けます。



5 F4 スロットに基板を差し込み、基板固定金具を取り付け、ネジで固定します。
<ノート>
リード線に注意して、基板を差し込んでください。

6 ストッパーのロックを解除し、基板ユニットを水平に倒して、ネジで固定します。
<ノート>
リード線に注意して、基板ユニットを水平に倒してください。

7 トップパネルを取り付け、ネジで固定します。

8 本機に電源を投入し、デコーダーモードに設定します。
表示パネルに示される、ステータス表示「UFC」が、NONE 以外の表示になっていることを確認します。

[バンクデータ対応エンコーダ/デコーダボード（AJ-VNC150P）の取り付け]
F5 スロットには、バンクデータ対応エンコーダ/デコーダボード（AJ-VNC150P）を取り付けることができます。
上記手順と同様に、F5 スロットの基板に取り付けてください。

コネクター

■VIDEO IN

HD SERIAL IN (DIGITAL) BNC × 1
HD REF IN BNC × 2　ループスルー　75 Ω終端スイッチ付き
SD REF IN BNC × 2　ループスルー　75 Ω終端スイッチ付き
HD SDTI IN BNC × 1

■VIDEO OUT

HD SERIAL OUT (DIGITAL) BNC × 3
SD SERIAL OUT (DIGITAL) BNC × 3
HD REF OUT BNC × 1
SD REF OUT BNC × 1
HD SDTI OUT BNC × 1

■AUDIO IN

HD SERIAL IN (DIGITAL) BNC × 1
AUDIO IN (DIGITAL) BNC × 4 CH1/CH2、CH3/CH4、CH5/CH6、CH7/CH8 AES/EBU フォーマット
TIME CODE IN XLR × 1　1：GND / 2：HOT / 3：COLD

■AUDIO OUT

HD SERIAL OUT (DIGITAL) BNC × 3
AUDIO OUT (DIGITAL) BNC × 4 CH1/CH2、CH3/CH4、CH5/CH6、CH7/CH8 AES/EBU フォーマット
TIME CODE OUT XLR × 1　1：GND / 2：HOT / 3：COLD

■ENCODER REMOTE (15P)

1	GND Frame ground
4	REM (G)
7	REM RX (X) Remote control protocol receive
8	REM TX (X) Remote control protocol transmit
14	REM RX (Y) Remote control protocol receive
15	REM RX (Y) Remote control protocol transmit

アフターサービスについて

1. 保証書…内容のご確認と保存のお願い
保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入を確かめて、お買い上げの販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

2. 保証期間…お買い上げ日から 1 年間
取扱説明書および本体貼付ラベル等の注意事項に従った正常なご使用状態で、保証期間内に万一故障を生じた場合には、保証書記載事項に基づき、販売店で**「無料修理」**させていただきます。**保証期間内でも次の場合には、原則として有料にさせていただきます。**

(イ)使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
(ロ)お買い上げ後の取付場所の設置、輸送、落下などによる故障および損傷
(ハ)火災、地震、水害、落雷、その他天災地変および公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど)、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障および損傷
(ニ)その他指定外の使用条件で使用された場合に生じた故障および損傷
(ホ)他の接続機器および接続部材に起因して生じた故障および損傷

3. 修理を依頼される前に
この取扱説明書をよくお読みのうえ、なお異常があるときは、必ず電源スイッチを OFF にしてから、販売店にお申しつけください。

ご転居・定期保守サービス等ご不明な点は、お買い上げの販売店にご相談ください。

定格

【総合】

電源：	AC100 V ± 10 %、50Hz/60Hz
消費電力：	120W

▭ は安全項目です。

動作周囲温度：
5°C ～ 35°C
動作周囲湿度：
10 %～ 90 %（結露無し）
外形寸法：
424（幅)× 98（高さ)× 611（奥行き）mm
重量：
14.2kg
エンコードフォーマット：
DVCPRO HD
エンコードビデオ信号：
1080i/59.94Hz、720p/59.94Hz 切り替え
エンコードオーディオ信号：
48kHz、16bit、8CH

【ビデオ】

サンプリング周波数：
Y ： 74.25MHz、P_B/P_R ： 37.125MHz
量子化：
8bits
ビデオ圧縮方式：
DCT ＋可変長符号
ビデオ圧縮比率：
1/6.7
エラー訂正：
リードソロモンプロダクトコード
ビデオビットレート：
100Mbps
映像帯域：
Y ： 20MHz、P_B/P_R ： 10MHz

■ **入力端子**
HD シリアルデジタル入力：
BNC × 1（SMPTE292M 規格に準拠）
HD リファレンス入力：
BNC × 2（ループスルー)、
75 Ω ON/OFF 切り替え
SD リファレンス入力：
BNC × 2（ループスルー)、
75 Ω ON/OFF 切り替え
HD SDTI 入力：
BNC × 1（SMPTE305M/321M 規格に準拠）

【ビデオ】

■ **出力端子**
HD シリアルデジタル出力：
BNC × 3（SMPTE292M 規格に準拠）
OUT3 はスーパーインポーズ可能
SD シリアルデジタル出力：
BNC × 3
（SMPTE259M-C/294M 規格に準拠）
OUT3 はスーパーインポーズ可能
HD リファレンス出力：
BNC × 1
SD リファレンス出力：
BNC × 1
HD SDTI 出力：
BNC × 1（SMPTE305M/321M 規格に準拠）

■ **調整範囲**
HD SDI Y 出力ゲイン：
－∞～＋ 3dB
HD SDI P_B 出力ゲイン：
－∞～＋ 3dB
HD SDI P_R 出力ゲイン：
－∞～＋ 3dB
HD SDI Y ブラックレベル：
± 10%
HD SDI 出力システム位相：
± 0.5H
HD SDI 出力ビデオ位相：
± 0.45H
SD SDI Y 出力ゲイン：
－∞～＋ 3dB
SD SDI P_B 出力ゲイン：
－∞～＋ 3dB
SD SDI P_R 出力ゲイン：
－∞～＋ 3dB
SD SDI Y ブラックレベル：
± 10%
SD SDI 出力システム位相：
± 0.5H

定格

【オーディオ】

サンプリング周波数：
48kHz（ビデオに同期）
量子化：
16bits

■ **入力端子**
デジタル入力：
(CH1/CH2、CH3/CH4、CH5/CH6、CH7/CH8)
BNC × 4、AES/EBU フォーマット
シリアルデジタル入力：
BNC × 1（SMPTE292M 規格に準拠）

■ **出力端子**
デジタル出力：
(CH1/CH2、CH3/CH4、CH5/CH6、CH7/CH8)
BNC × 4、AES/EBU フォーマット
シリアルデジタル出力：
BNC × 3（SMPTE292M 規格に準拠）

【その他の端子】

タイムコード入力：
XLR × 1、0.5 ～ 8V [p-p]、10k Ω
タイムコード出力：
XLR × 1、Low インピーダンス、
2.0V [p-p] ± 0.5V [p-p]（600 Ω負荷時）
エンコーダリモート：
D-sub 15pin

【付属品】

電源コード（3 芯）	× 1
2U ラックマウントアダプター	× 2
2U ラックマウントアダプター用ネジ	× 4

松下電器産業株式会社　AVC社　システム事業グループ

〶 571-8503　大阪府門真市松葉町２番15号　　☎（06）6901－1161

VQT9070-1

F0501W1012 D